

第3回（仮称）デザイン会議で出された意見の要旨（案）

（付箋紙に書かれた意見を内容により項目分けして、要旨として取りまとめたものです。）

◆討議テーマ1：早期に対応すべき課題の解決策のアイデア

テーマ分野	解決策のアイデア	意見要旨	解決策のアイデア	意見
交通・道路・街並み	まちのビジョンの作成	用途地域の変更、地区計画、まちのルール策定は急に作れるものではないため、道路を中心にどんなまちを目指すかというまちのビジョンづくりに早急に着手できるとよい。	まちのビジョンの作成	用途地域の変更や、地区計画、まちのルール策定は急に作れるものではないため、道路を中心にどんなまちを目指すかというまちのビジョンづくりに早急に着手したい。
	132号線沿道のまちづくりのルール策定	補助132号線沿道の商店街や住環境を守る視点から、通行の規制や道路の民有地の建築物への制限などの沿道のまちづくりのルールを行政、住民、民間事業者が協力して作る必要がある。補助132号線の整備により民有地では既に建て替えが起こっており、優先度が高い検討事項だと思う。	132号線のマスタープランの策定	拡幅後の132号線は一方通行とし、沿道の利用を含めたマスタープランを策定する必要がある。
			132号線沿道ルール（地区計画）の策定	都市計画道路1期工事に関する事柄を優先度を高く検討するべき。補助132号線沿道の民有地の建築物に制限を掛ける「地区計画」をつくる。具体的には1階を店舗にするルールにし、店舗が入るようにする。
			民有地建て替えのルールづくり	補助132号線の整備により民有地では建て替えが起こっているが、魅力的な商店が並ぶ、歩きたくなるまちには必ずしもなっていない。例えばマンションに建て替わり、1階が店舗などひらかれた空間でなければそれは商店街ではないのではなか。地区計画など民有地の建て替えのルールづくりを考えたい。歩道のあり方や並木の計画なども含めて検討したい。
	ウォーカブルなまちを目指した道路のあり方や設計の検討	歩車分離、バリアフリー、透水性舗装など、歩きやすさや移動のしやすさを考えた道路のあり方と設計を考える。西荻窪が「ウォーカブルなまち」だと宣言できるようになると良い。	まちづくりのルール策定	補助132号線沿道の民間地の活用について、投資開発に過度に依存せず、住環境を守る視点を取り入れるべき。マーケットの論理だけに委ねるのは問題があるため、行政・住民・事業者が協力してルールを作る必要がある。
			歩車分離した道路設計	車両、自転車、歩行者それぞれが専用の通行空間を持てるような設計を目指す。
	ソフト対策によるウォーカブルなまち・歩車共存の実現	道路の速度制限を20km/hとし車も歩行者も譲り合えるようにする、週末やイベント時には特定エリアで車両の通行を制限する、西荻窪駅北口駅前から北銀座通りに交通規制、車進入禁止エリア、速度制限を設けるなど、歩車が共存したウォーカブルなまちを実現したい。車では行きにくいと思われることが車の削減につながったり、歩車分離されていないからこそ車が気を付けて走り、車と歩行者がゆずりあう文化が生まれたりすると思う。	透水性・バリアフリー道路の導入	拡幅する道路は、透水性舗装を採用するとともに、バリアフリー設計とする。
			「ウォーカブルなまち宣言」に基づく道路のあり方の検討	「ウォーカブルなまち宣言」をして、歩きやすさ、移動のしやすさに基づいた道路拡幅のあり方などを考えるのが良いと思う。
			ソフト対策による歩車共存の実現	歩車共存の道路のあり方を考えたい。たとえば道路の速度制限を20km/hとし、車も歩行者も譲り合えるようにするなど。
			週末限定の車両通行規制	週末やイベント時には、特定エリアで車両の通行を制限し、歩行者や自転車が安全に利用できる道路空間を確保する。
			ソフト対策による歩車共存の実現	西荻窪が思いやり、ゆずりあいの心を育むまちになると良い。歩車分離がされていない道路では、車も気を付けながら走り、人と車が共存できているので、車や歩行者がゆずりあう文化をつくりたい。
			交通規制等によるウォーカブルなまちの実現	西荻窪駅北口駅前から北銀座通りに交通規制・車進入禁止エリア・速度制限をかける。歩行者天国のようなことができれば、地元や外部からも人が来てまちがにぎわうのではないかと。規制等をかける際は、曜日や日時をランダムにする。これにより、西荻窪駅は車が行きづらいつつ普段から思われるようになり、車が減ると思う。ウォーカブルなまちに近づき、食べ歩きのできるまちにしたい。

交通・道路・街並み	沿道状況に応じた132号線の道路デザインの検討	均一に拡幅するのではなく、渋滞防止のためにバス停部分の車道は広くしその他の部分は歩道を広くしてベンチや植栽を点在させる、車道と歩道の幅を振り分けたデザインにすることで歩行者優先の道路にするなど、沿道の用途や事情によって変化を持たせ、沿道の住人、商店主の要望を踏まえて道路をデザインしてはどうか。	沿道状況に応じた132号線の道路デザイン	補助132号線沿道は均一に拡幅するのではなく、沿道の住人、商店主が自身の土地の前の道路をデザイン(設計)できると良い。例えば、歩行者優先の道路にする、車道と歩道の幅の振り分けのデザインをする等。バス停部分は車道を広くして、バス停留時渋滞にならない様にする、その他の部分は歩道を広くしてベンチや植栽を点在させるなど、一律の道路・歩道幅ではなく、沿道の用途や事情によって道路をデザインできるようにするのはどうか。
	社会実験などによる道路用地活用方法の検討	社会実験やプレイスメイキング（居心地の良い空間づくり）で実際に使いながら道路用地の活用方法を検討してはどうか。公園の様なオープンスペースや国際的なアートフェスの会場などとして使えと良い。	道路（公共空間）の文化的な活用	今後、インバウンドも含め多文化共生社会になることは否めない。道路拡幅エリアに国際的なアート（美術・音楽・演劇・文学等）のフェスを開催する。
			道路用地活用の検討	空地になっている補助132号線の買収済み用地を社会実験、プレイスメイキング（居心地の良い空間づくり）しながら、活用方法を考える。
			オープンスペースとして道路を活用	拡幅された道路は第2の公園にもなる。週末又は月1、2回でもオープンスペースとし開放してはどうか。
	道路用地をグリーンインフラ・ウォーカブルなまちづくりに活用	道路拡幅によって取得した道路用地を透水性舗装にしてグリーンインフラとして活用できると共に、そこを駐輪場にできれば、自転車圏内で完結するウォーカブルなまち、小さなまちの実現につながる。	道路用地をグリーンインフラとして活用	道路拡幅によって取得した道路用地をグリーンインフラとして活用できないか。西荻らしい道を考えたい。
			道路用地を活用したウォーカブルなまちの実現	道路拡幅によってやむを得ず生まれた空き地をグリーンインフラの視点で透水性舗装にし、駐輪場にすることでウォーカブルなまちにしたい。自転車圏内で完結する小さなまちの実現になる。
	道路完成までに賑わいを停滞させない道路用地の活用	道路の拡幅工事は時間がかかるので、道路用地により隙間の様に空いた空間ができてしまう。この用地を活用してにぎわいを停滞させないことが重要だ。暫定的に有効活用するアイデアを広く募集してはどうか。補助132号線の事業や街の変化を地域に知ってもらう機会にもなると良い。	道路用地の活用のアイデア募集	道路拡幅は徐々に進むので、出来あがるまでところどころにスキマ（取得済み道路用地）ができる。その有効活用法を考えるためのアイデアを募集する。
			道路用地の活用のアイデア募集	道路用地の取得が進むと今ある店舗がなくなり空き地が増えてしまう。道路ができるまでの間、このスキマ（取得済みの道路予定地）を活用するアイデアコンペを区が呼びかけ、道路事業や街の変化を地域に知ってもらう機会にできると良いと思う。
			道路用地の活用による商店街のにぎわい継続	道路拡幅によって取得された道路用地を暫定利用することで商店街のにぎわいを継続させたい。活用してにぎわいを停滞させないことが重要だと考える。
	自転車専用レーンの整備	補助132号線の拡幅に伴い、例えば歩道部分の1m程度を自転車専用レーンと緑地（グリーンインフラ）として活用して、安全性と景観の向上を図ってはどうか。歩行者スペースと明確に区分することで、子どもや高齢者も安心して歩くことができ、街歩きのにやすさが向上すると思う。	自転車レーンの整備	道路拡幅に伴い、歩道部分の1m程度を自転車専用レーンおよび緑地（グリーンインフラ）として活用し、安全性と景観の向上を図る。
			自転車レーンの整備	自転車専用レーンと歩行者スペースを明確に区分し、子どもや高齢者も安心して利用できるようにする。まち歩きのにやすさを向上させるための工夫が必要。
	駐輪場の現状把握と新設	地域全体で駐輪場の設置状況を把握するとともに、新たな駐輪場の候補地を探す。	駐輪場の確保	地域全体で駐輪場の設置状況を把握するとともに、新たな駐輪場の候補地を探す。
	バスロータリーの拡大	西荻窪駅のバスロータリーが狭いので、傘をさして歩くとぶつかることも多い。もう少し広くしてはどうか。	バスロータリーの拡大	西荻窪駅のバスロータリーが狭いので、傘をさして歩くとぶつかることも多い。もう少し広くしてほしい。

自然・環境	住民と行政が両輪となったグリーンインフラへの取組	住民と行政の両面からグリーンインフラの取組みを検討し、早期に着手できると良い。個人レベルでは雨庭設置、屋敷林などの既存の緑地の保全や新しい緑地を増やすこと、行政レベルでは川や公園施設の効果的な利用方法、道路用地等をアスファルトではなく土にすることなどが考えられる。	グリーンインフラへの取組	グリーンインフラの取組として、個人レベルでは各家庭での雨庭設置、行政レベルでは川や公園施設の効果的な利用方法について考えたい。時間はかかると思うが早期に着手していきたい。
			グリーンインフラへの取組	道路用地等をアスファルトではなく土とし、イベントエリア、グリーンエリアをつくるのはどうか。土にすれば雨庭づくり等ができ、環境についてのイベントもできるのでは。
			住民が着手できるグリーンインフラへの取組	住民が着手できるグリーンインフラ対策として、屋敷林などの既存の緑地や新しい敷地の緑地の増やし方を考える。
			雨庭や屋上緑化などの活用	現在のまちはアスファルトが多いため水害の危険がある。まちの水調整機能を少しでもアップするために、雨庭づくりや屋上緑化等ならできないではないか。
	条例等による緑の維持・拡大	自然環境に関する住民の意識を高める「みどりと花の憲章」や地域の大樹や緑地を保全するための条例を作ったり、まちづくり条例に風致地区の指定や緑被率を含めることを検討し、地域の緑を維持、拡大する施策を進められると良い。	住民の自然環境意識を高める憲章づくり	自然環境に関する西荻住民の意識を高めるため、「みどりと花の憲章」をつくりたい。みんなが緑が大事だと思えるような文言を考える。
			条例による緑の維持・拡大	まちづくり条例に風致地区の指定や緑被率を含めることを検討し、地域の緑を維持・拡大する施策を進める。
			条例による緑の維持・拡大	地域の大樹や緑地を保全するための条例を策定し、都市の緑を守る仕組みをつくる。
	学校と連携した緑化の推進	民地の植え込みに花を植える活動をすれば、街全体が華やぐのではないか。都立農芸高校に苗を育ててもらって植え、花が咲いたら解説に来てもらう等の連携ができると良い。	民地の植え込み等を活用した緑化の推進	駅周りにベンチが少なく、植え込みに座っている高齢者をよく見かける。民地の植え込みに花を植える活動をすれば、街全体が華やぐのではないか。都立農芸高校に苗を育ててもらい、それを植える。花が咲いたら解説に来てもらうなど連携ができるのではないか。
	街路樹による暑さ対策	街路樹を車道や歩道も覆う形に剪定することで日陰を作り、猛暑対策に活用できると良い。今は強剪定しているため樹形が不自然なので、区は剪定の仕方を考え直してほしい。	街路樹による暑さ対策	現在の街路樹は強剪定のために、樹形が不自然である。日陰を作り、猛暑対策とするために、街路樹は剪定の仕方でも車道も歩道も覆う形にできる。区は剪定の仕方を考え直してほしい。
	気候変動対策としての量り売り商店の普及	気候変動対策のために、脱プラスチック生活の基盤づくりとして、量り売りをする個人商店が増えると良い。補助金等で支援してはどうか。	量り売り商店の普及	気候変動対策のために、脱プラスチック生活の基盤づくりとして、量り売りをする個人商店が増えると良い。補助金等で支援してはどうか。
文化・コミュニティ	街の回遊性を高める「隙間空間」づくり	高齢者は体力がないため休憩場所がないと外を出歩かないが、100mおきくらいに小陰で腰を休めることができる場所がまちなかにあると、外に出る機会が増えるのではないか。高齢者の活力やコミュニティづくりに繋がる。	街の回遊性を高める「隙間空間」づくり	高齢者が小陰で腰を休めることができる「すきま」がまちの中に100mおきくらいにあると助かる。そこにベンチを置いたりする。高齢者は体力がないため休憩場所がないと外に出歩かないが、若い頃に活動した憩いの場にまた行きたいと思う。外に出る機会が増えれば、高齢者の活力やコミュニティづくりに繋がる。
	西荻の文化を活かしたイベントの開催	西荻は古本屋やアールスペースが多くて文化が濃厚なまちだと思う。独特の呑み屋文化もある。それらを生かした西荻特有の文化イベントを新たに立ち上げ、定期的に開催したい。例えばかつてあった西荻ラバーズフェスを参考にしたオクトーバーフェストのようなものが考えられる。	呑み屋文化を活かしたフェスの開催	西荻には独特の呑み屋文化があり、テレビでも取り上げられることがある。その文化を活かしたフェスティバルを定期開催したい。例えばオクトーバーフェストのようなもの。かつてあった西荻ラバーズフェスを参考にしたい。
			西荻の文化を活かしたイベントの開催	西荻は古本屋やアールスペースが多く、文化が濃厚なまちにしたい。西荻特有の文化イベントを新たに立ち上げ、定期的に大々的に開催したい。

文化・コミュニティ	地域活動への参加促進による人材育成	地域の人材育成や新たな人材とのコミュニケーションのためには、地域活動への参加を促すことが大切だ。既存のコミュニティ（商店会、町会、ケア24、西荻みなみなど）と連携したり、交流できるスペースを設けられると良い。活動がたくさん生まれれば地域が活性化し、予想しなかった広がりができることもある。	地域活動への参加促進による人材育成	地域活動への参加が地域の人材育成につながると思う。活動がたくさん生まれることで地域が活性化すると思う。
			地域活動への参加促進による人材育成	交流できるスペースがあることで活動を維持できるし、交流が活発になることで予想しなかった広がりを見せることもあり、人材育成につながるのではないかな。
			地域活動への参加促進による人材育成	新たな人材とのコミュニケーションには、既存のコミュニティ（商店会、町会、ケア24、西荻みなみなど）との連携が有効だと思う。
防災・防犯・治安	参加しやすい防災・防犯ボランティア活動の実現	防災・防犯は人と人の縁によって実現するので、少しでも多くの人が参加しやすいスキーム（枠組み）が必要だと思う。会社員だと地域との関わりがなく、週末だけボランティアに参画するのは難しい。「みどりのボランティア杉並」と清掃ボランティアの連携、長寿応援ポイントの活用などができると良い。	誰でも参加しやすいボランティア活動の実現	「みどりのボランティア杉並」と清掃ボランティアの連携を考えたい。長寿応援ポイントも活用できるのではないかな。会社員だと地域との関わりがなく、週末だけボランティアに参画するのは難しいが、防災・防犯は人と人の縁によって実現するので、少しでも多くの人が参加しやすいスキームが必要だと思う。
商店・商店街	個人商店と商店街の街並みを守るルール作り	補助132号線沿いには、魅力ある個人商店が並ぶ今では貴重な商店街があるので、個々の商店が継続し、街並みが守れる様なルール作りが必要だと思う。例えば大手のチェーン店ではなく個人商店が有利に出店できるルール、ビルの1階にはテナントを入れる等の規制などが考えられる。道路拡幅計画により商店が立ち退きをする場合には、移転先の希望をかなえられる支援策も検討してほしい。	132号線沿いの商店街を守るルール作り	補助132号線沿いの商店街は、魅力ある個人商店がならぶ今では貴重な商店街である。この商店街のある風景を守るため、道路拡幅計画により商店が立ち退きをする際には、希望に見合う移転ができるような、また元の場所に戻りやすくなるようなルール作りができると良い。大手のチェーン店ではなく、住民による商店が有利に出店できるルールとしてほしい。
			132号線沿いの商店街を守るルール作り	荻窪のまちづくり方針のような、建物の1階に商店をいれるようなルール作りができると良い。
			小、中規模の店舗を保全するルールづくり	小、中規模の商店やまちなみを大切にしたい。西荻窪は比較的低層の建物が多く、このまちなみが良い。高層建築物がダメとは言わないが、西荻窪のまちなみのイメージが崩れるし、高層建築物は住戸や投資物件になることが多いので、小、中規模の店舗がなくなってしまうことが心配だ。保全するルールづくりをするのもいいのではないかな。
			商店街維持のためのルール作り	道路拡幅による立ち退きの後、集合住宅ばかりが作られてきている様なので、1階にはテナントを入れる等の法規制をして、商店街が存続する様にしてほしい。
			商店街の存続支援	個々の商店が継続できるよう、道路整備や歩行者空間の確保と連携した支援策を検討する。
	個人商店と顧客・来街者を繋ぐイベント等の実施	「西荻茶散歩」の様な商店と人が繋がる、継続的なコミュニケーションを生むイベントの企画ができると良い。今は民間だけで実施しているが、コミュニティ形成とまちの活気に繋がる施策には区も関わってほしい。	個人商店と顧客・来街者を繋ぐイベント等の実施	コミュニティ形成とまちの活気に繋がるような、個人商店と人とのコミュニケーションを継続させるための施策を区からやってほしい。例えば現在民間だけで行っている西荻茶散歩の様な商店と人が繋がる様なイベントの企画ができると良い。
	個々の消費者による店舗支援	個性ある店舗を残すためには、その店で積極的に買い物をして応援することが必要だと思う。	個々の消費者による支援	個性ある店舗を残していくためには、その店で積極的に買い物をして応援することが必要だと思う。

テーマ横断	空き家や空き店舗の利活用の仕組みづくり	空き家や空き店舗をレンタルルーム、短期的に利用できるオフィススペース、ポップアップショップやコワーキングスペースなどとして活用できないか。物件の検索ができたり所有者と利用者とを仲介するシステムがあると良い。住民に貸し出すことができれば、コミュニティづくりや居場所づくり、地域活動や文化活動の場として使える可能性がある。	空き家や空き店舗の利活用システムの構築	空き家や空き店舗をオフィススペース（短期的に利用できるスペース）として活用できるよう、行政主体で制度を整え、物件のリスティング、所有者と利用者の仲介システムを整備してほしい。
			空き家を地域住民が活用する仕組みづくり	空き家をレンタルルームとして住民に貸し出す検討をしたい。コミュニティづくり、居場所づくり、防犯、文化的な活動、みどりのボランティアによる庭の管理など多様な活動に使える可能性がある。
			空き店舗の活用	西荻窪駅周辺に空き店舗があるのはもったいないので、月極で貸してポップアップショップやコワーキングスペースとして開放し、活用してはどうか。
	若い層をまちに巻き込む拠点の設置	若い層をまちに巻き込む先行事例として、西荻窪駅周辺に交流拠点を設置できないか。東京女子大学の学生にまちに関わってもらえると、まちへの愛着が生まれると思う。地域活動は就職に有利になるだろうし、学生達にまちに関わることは楽しいと感じてほしい。	若い層をまちに巻き込む拠点の設置	若い層をまちに巻き込む先行事例をつくりたい。東京女子大学は駅から離れているが、交流拠点を西荻窪駅周辺に設置できないか。大学生がまちに関わることで、まちへの愛着が生まれる。地域活動は就職に有利になるだろうし、大学生自身にまちに関わることは楽しいと感じてほしい。
	西荻窪来訪の目的となる場の創出	補助132号線によって店舗が減り、賑わいが失われることが考えられるので、西荻窪に行ってみようと思わせる場所、休んだり、滞留できる場所の創出が必要だと思う。人が集まる核となる、訪れる目的になる施設ができると良い。	西荻窪来訪の目的となる場の創出	補助132号線によって店舗や賑わいが減ってしまう中、街の活性化を考えると、西荻窪に人が集まる核となる施設、訪れる目的になる物を創出する。西荻窪に行ってみようと思える場所、休んだり、滞留できる場所の創出が必要だと思う。
	体験型防災訓練による地域コミュニティ育成	防災とコミュニティを掛け合わせて、地域ごとの避難路ウォーキングや消火栓を実際に使ってみるイベントなどを行うことで、「体験」と「人と人との交流」を実現できると良い。	体験型防災訓練による地域コミュニティ育成	防災とコミュニティというテーマを合わせて考え、地域ごとの避難路ウォーキングや消火栓を実際に使ってみるイベント（消防署の指導の下）などを行う。「体験」と「人と人との交流」を実現する。
	まちづくり団体等の設立	西荻のまちづくり方針を策定するにあたっては、行政と区民がそれぞれ何ができるのかを整理して、まちづくり団体の設置など具体的な方策を検討できると良い。	まちづくり団体の設立	西荻のまちづくり方針を策定するにあたり、行政と区民がそれぞれ何をできるのかを整理し、まちづくり団体の設置など具体的な方策を検討する。
その他	緑化と安全のバランスを管理する住民活動組織の設置	緑化を促すことによって、樹木が道路にはみ出して視界を妨げる等の交通安全上の問題が起こることもある。はみ出した樹木等を剪定する環境整備隊を住民で立ちあげたい。	緑化と安全のバランスを管理する、住民主体の活動組織の設置	緑化を促すことは良いが、道路に樹木がはみ出しては視界を妨げたりと交通安全上良くない。このため、そういったはみ出した宅地や街路の樹木等を剪定する環境整備隊を住民で立ちあげる。
	社会的弱者にも優しいソフト面の充実	社会的弱者が気持ちよく出歩けるまちを目指したい。そのためには、行政がハード面を充実させるとともに、区民同士で支え合う気持ちを持つ努力をしたい。	社会的弱者にも優しいソフト面の充実	生活に問題を抱えていない人（デザイン会議に参加できている様な人々）には強者の論理になりがちなので、弱者の側の人（身体的・精神的等何らかの理由でまちに出歩くのが難しい人々）が気持ちよく出歩けるまちを目指したい。そのためには、ハード面（行政）の充実とともに区民も住民同士の支え合いの気持ちを持つ努力をしたい。
	検討の体制・関わってほしい人	通勤通学者、来街者、民間企業など、第3者的なビジョンが持てる西荻窪の周辺住民以外の人に関わることで文化が充実したり、構想が実現に近づくこともあると思う。街の活性化が目的のイベントには外部の人にも入ってもらい、一緒に作ることができると良い。		西荻窪の周辺住民以外の人（通勤通学者、来街者、民間企業など）が入ることで文化が充実したり、実現への近道になることもあるため、街の活性化目的のイベントは第3者的なビジョンが持てる外部の方々も一緒に作る必要があると思う。

その他	検討の体制・ 関わってほしい人	健常者もハンディキャップのある人も、海外の人も分け隔てなく暮らせる、インクルーシブなまちにしたい。移動を円滑にし、ユニバーサルデザインを進めるためには、交通弱者と言われる障がい者、高齢者にも検討に参加してもらうことが不可欠だと思う。		外国人と障がい者も参加できるまちづくりが必要だと思う
				健常者もハンディキャップのある人も分け隔てなく暮らせる、インクルーシブ（あらゆる人々を受け入れる）なほのぼのとしたまちをつくりたい。
				道路ができた時の移動の円滑さやユニバーサルデザインを進めるために、交通弱者と言われる障がい者、高齢者に検討に参加してもらうことは不可欠だと思う。
		子どもの安全や居場所の確保を考えたまちづくりや、鳥や虫や動物の生息しやすさを踏まえたまちづくりの実現のために、区民と区と東京都がフラットな立場で協議できる場があると良い。例えば、善福寺川調節池の事業では子どもの遊び場を残したいという区民の意見を反映し、都と区で連携して他の対策を考えたらどうか。		子どもが安全に走れる広さの公園など、居場所の確保を含めた複眼的なまちづくり、また、みどりの保全のみではなく鳥や虫や動物の生息しやすさも踏まえたまちづくりを実現するために、区民と区と東京都がフラットな立場で協議できる場を作りたい。
	事業への期待・懸念	防災や治安面、緊急車輛の通過等を考えると、補助132号線の道路幅の拡幅は必要だと思う。道路幅員が広くなり横断が難しくなると思うが、都市計画道路の幅員には延焼遮断という防災の観点もある。		善福寺川緑地の一部の子どもの遊び場を残したい。東京都の善福寺川上流調節池の事業では、下水道の関係で公園の一部が長期間使えないと聞いている。都と区で連携して他の対策を考えたらどうか。
				防災、治安面、緊急車輛の通過等を考えると、補助132号線の道路幅の拡幅は必要である。
		補助132号線は無電柱化すると人が歩きやすくなる一方で車が通りやすくなり、スピードが出て危ないのではないか。沿道に東京ガスがなくなっているし、五日市街道までつながらないとしたら緊急輸送道路としての意味はないと思う。補助132号線も善福寺川上流調節池のトンネル工事も税金の無駄遣いなので中止した方が良い。		132号線ができると道路幅員が広くなり横断が難しくなると思うが、都市計画道路の幅員には延焼遮断という防災の観点もあることも考えておく必要があると思う。
				補助132号線は無電柱化すると人が歩きやすくなるかもしれないが、同時に車が通りやすくなりスピードが出て危ないのではないか。
				補助132号線と善福寺川上流調節池のトンネル工事は税金の無駄遣いだと思う。両工事共にやるべきではないか。
		西荻窪駅前再開発がされると、板橋区の大山商店街のように商店街が壊れてしまうのではないかと危惧している。		補助132号線は、沿道に東京ガスがあるから緊急輸送道路として使用するといったが東京ガスがなくなり理論が破綻している、五日市街道まで届かないから緊急輸送道路として意味ない。補助132号線の道路工事と善福寺川下のトンネル工事は両方とも税金の無駄遣いだと思う。
				補助132号線は、沿道に東京ガスがあるから緊急輸送道路として使用するといったが東京ガスがなくなり理論が破綻している、五日市街道まで届かないから緊急輸送道路として意味ない。補助132号線の道路工事と善福寺川下のトンネル工事は両方とも税金の無駄遣いだと思う。
				補助132号線は、沿道に東京ガスがあるから緊急輸送道路として使用するといったが東京ガスがなくなり理論が破綻している、五日市街道まで届かないから緊急輸送道路として意味ない。補助132号線の道路工事と善福寺川下のトンネル工事は両方とも税金の無駄遣いだと思う。
		アーケードがあると雨の日でも傘なしで歩けるし、昔ながらの商店街のまちなみが残るので必要だと思う。		板橋区の大山商店街は補助26号線の事業により壊されていると思う。駅前再開発がされることで西荻窪の商店街も同じ様に壊れてしまうのではないかと危惧している。
		シールド工法による善福寺川上流調整池の計画が進んでいるが、外環や八潮市の陥没事故を見ても安全性に不安があるし、工事によって関根文化公園などの貴重な子ども向けの公園が失われてしまう。立ち退きを強要されている人はもちろん、多くの西荻住民が納得していないと思うので、区としても異議を唱えてほしい。		雨の日でも傘なしで歩けるし、昔ながらの商店街のまちなみが残るので、アーケードは必要だと思う。
				善福寺川上流調整池をシールド工法による地下大トンネルで整備する計画が進んでいるが、この工事によって貴重な子ども向けの公園が失われる懸念がある。関根文化公園の存続を強く求める。
				外環工事や最近の八潮市の陥没事故を見ても、道路などの下に穴を掘るシールド工法は危険に感じる。区としても調節池のシールド工法に異議を唱えてほしい。
		橋の上から見る善福寺川の流れを美しく、鳥・魚も楽しく見えて心の憩いになるようにしたい。		善福寺川調節池については立ち退きを強要されている人はもちろん、西荻住民も納得していないので区から住民の了解をとれない内は進行しないでほしいと都に強く訴えてほしい。
				橋の上から見る善福寺川の流れを美しく、鳥・魚も楽しく見えて心の憩いになるようにしたい。

◆討議テーマ2：来年度のデザイン会議で取り組みたいこと

分類	取組・情報の内容	意見要旨	取組・情報の内容	意見	場・方法
デザイン会議で検討したいこと	まちあるきによる西荻窪のまちの変化と現状の把握	商店街、住宅街、公園、空き地などを調査するまちあるきを行い、まちの現況と課題を把握して地図におとしたり、歴史や文化、住環境の特徴を整理できるとよい。	まちあるき まちの現状把握	西荻のこと研究所が行っているニシオギ大調査に参加して、まちの状況を共有したい。	まちあるき
			まちあるき まちの現状と課題の把握	かつては商店だったところがアパート、住宅になっている。自分の商店会ではこの50年で45店から10店になってしまった。街の現状を実際に見て知り把握をすることが必要だと思うので、勉強会をかねてまち歩きを行いたい。	まちあるき
			まちあるき まちの現状と課題の把握	公園、空き地、避難所、花壇などを巡りたい。まちの現状と課題を共有するために地図に落とし込みたい。	まちあるき
			まちあるき 西荻の基礎（歴史・文化）	西荻のまち歩きを通じて、西荻の歴史・文化・住環境の特徴を再認識し、課題や魅力を整理する。	まちあるき
	現況と将来の姿を理解した上でまちのあり方の検討	補助132号線の事業認可からこの5年間でどういった変化が起きているのかを認識、共有すると共に、今後どのように変わる可能性があるのかをイメージできた上で、将来のまちのあり方を話したい。将来のことだけでなく、変化の過程にある今に対してどのように対処すべきなのかも考える必要があると思う。	132号線沿道 まちの変化と現況把握	補助132号線の問題は、部会で話し合わないといけないと思う。勉強会にするとテーマが矮小化される。以前のデザイン会議で補助132号線の白模型が置かれていたが、模型を使って改めて説明してほしい。どのようにまちが変わるのかイメージがわからない。	部会
			132号線沿道 まちの変化と現況把握	補助132号線の事業認可からこの5年間でどういった変化がまちに起きているのかを共有・認識したい。地権者や立ち退く側の生活を守りたいという声がある一方で、立ち退いた後の狭小スペースで面白いコンセプトのホテルが建ったことや、多くの反対意見のあった大型スーパーが今ではこのまちにない場所となっているという住民の声もあるので、それらを共有したい。	その他
			132号線沿道 まちの変化と現況把握	補助132号線の整備により街が変貌している。整備が完了した後のまちの姿ばかりでなく、変化している過程にある今を捉えることが必要。今に対してどのように対処すべきか考えなければならない。	発言なし
	勉強会やまちあるきによる132号線計画の現状把握と情報共有	補助132号線は早急な問題なので勉強会は必要だろう。現状では情報が断片的なので一元化された情報を共有して、厚みのある議論がしたい。計画区域（青梅街道～五日市街道）をデザイン会議の参加者で歩いて、まちの変化や現況を把握してはどうか。	まちあるき 132号線の現況把握	まず、現場を知ることが大切と考え、132号線の計画区域（青梅街道～五日市街道）をデザイン会議の参加者のみんなで歩く。	まちあるき
			132号線	補助132号線の道路についての勉強会・考える会をする。現状では情報が断片的なので議論に厚みが増さない。これを知れば132号線のことかわかるという一元化された情報を共有する必要があると思う。	勉強会
			132号線	補助132号線は早急な問題のようなので、「補助132号の勉強会」は必要だと思う。	勉強会
			まちあるき 132号線沿道 まちの変化と現況把握	補助132号線の事業認可からこの5年間でどういった変化がまちに起きているのかを共有・認識したい。まち歩きをしてまちの状況を共有したい。	まちあるき
	補助132号線の必要性の検証と他の選択肢の検討	補助132号線は何を解決するための整備なのかを勉強し、拡幅によって課題が解決できるのか、他の方法はありえないのかを考え、必要性を納得した上でないと先に進めないと思う。	132号線沿道 必要性・目的・課題解決方法	補助132号線は何を解決するための整備なのかを勉強し、議論したい。道路拡幅でそれを解決できるのか、それ以外の方法はないのかを議論し、その結果をどう多くの区民や来訪者とコンセンサスが取れるのかを考えたい。	その他
			132号線沿道 必要性・目的	道路拡幅はなぜ必要なのか。必要だとすれば、何を達成するための拡幅なのかをみんなで勉強し、議論したい。納得した上で先に進みたい。	その他

デザイン会議で検討したいこと	補助132号線周辺エリアを対象としたまちづくり協議会の設立	補助132号線周辺エリアを対象としたまちづくり協議会が、デザイン会議から生まれるとよい。	132号線沿道	補助132号線周辺エリアを対象としたまちづくり協議会をデザイン会議から生まれさせたい。	部会
	補助132号線の断面・デザインの検討	補助132号線の整備にあたって、16m幅の道路断面の構成（歩道・車道・自転車道など）を具体的に検討したい。市民のアイデアを形にした市民案が作れるとよい。	132号線 道路の構造・設計	16m幅の道路断面の検討。補助132号線の整備にあたり、16m幅の道路断面がどのような構成（歩道・車道・自転車道など）になるのかを具体的に検討する。市民のアイデアを形にするため、具体的な市民案をつくる。	部会
	ウォーカブルなまちや人中心の道づくりの検討	ウォーカブルなまちや人中心の道づくりを検討したい。先進的な事例を調査し、ハードとソフトの両面から移動が円滑にできるまち、「ほこみち（歩行者利便増進道路）」などの人と車が共存する道路のあり方を考えられるとよい。	ウォーカブルなまちづくりの推進	歩きやすいまちを目指し、先進的なウォーカブルなまちを調べる部会を立ち上げる。	部会
			ウォーカブルなまちづくりの推進	車、自転車、人それぞれに対してハード、ソフトの両面から移動が円滑にできる、歩きやすい街、ユニバーサルデザインについて話し合う。	部会
			人優先の道のあり方	国土交通省も「道路は車中心」から「道路は人を中心」に考える方向性を示している。拡幅や延伸とは異なる道路のあり方（ほこみちなど）も皆で考えてみたい。他国の例も。	その他
			人優先の道のあり方	道路という言葉は車中心だが、道という言葉は人が中心である。人のための道づくり、ウォーカブルな道づくりを考えたい。海外にはガードレールではなく色分けによる歩車分離がされた、人と車が共存する道もある。道路拡幅せずに共存した道づくりが可能かを考えたい。	その他
	ウォーカブル区域指定を念頭に商店街の活性化を踏まえた人優先の道路の検討	有識者を招いた勉強会や事例見学会を行い、商店街の活性化を考えた人優先の道路のあり方を検討したい。ウォーカブル区域に指定されると既存建物の有効活用に補助金が利用可能になり、小規模店舗が並ぶ商店街を守れると思うので、指定されることを目指したい。	ウォーカブルなまちづくりの推進	西荻窪地域をウォーカブル区域に指定したい。区域指定されると既存建物の有効活用に補助金が利用可能と聞いた。これにより小規模店舗の商店街を守り将来に残せる。	部会
			ウォーカブル区域	ウォーカブル区域の勉強会を行う。どうやったら西荻窪地域を指定できるのか。指定できたらどういう効果があるのか。区域指定されると既存建物の有効活用に補助金が利用可能と聞いた。これにより小規模店舗の商店街を守り将来に残せる。	勉強会
			人優先の道のあり方 （商店街の活性化を踏まえた）	商店街の活性化のために、西荻窪駅商店街から善福寺池までを安全に歩ける様な道路へと、道路拡張せずに道路標識等を使って実現できないか考えたい。	その他
			人優先の道のあり方 （商店街の活性化を踏まえた）	商店街の活性化を考えた、人優先の道路のあり方を検討したい。例えば道路を歩きながら参加できるイベントを企画することで、商店に立ち寄るような仕組みをつくる。そして、そのお店に区の情報を置き、それに対するアンケートを取る。そこで得られた意見を活かしていくといった事をやってはどうか。	部会
	ウォーカブル区域指定を念頭に商店街の活性化を踏まえた人優先の道路の検討	有識者を招いた勉強会や事例見学会を行い、商店街の活性化を考えた人優先の道路のあり方を検討したい。ウォーカブル区域に指定されると既存建物の有効活用に補助金が利用可能になり、小規模店舗が並ぶ商店街を守れると思うので、指定されることを目指したい。	商店街の活性化を踏まえた人優先の道のあり方 専門家・有識者・企業との勉強会	「商店街や歩行者等に貢献する」道とは何かを考えたい。「ほこみち（国土交通省道路局の歩行者利便増進道路）や「ウォーカブル区域（同省都市局）」についての勉強会。事例見学会、有識者（山崎満広氏）を招いての勉強会を開きたい。具体的には、遊歩道が車道へ、車道が歩道へ、平時は文化的なエリアになる道づくりが必要。拡幅道路において車道⇄歩道に切り替える手法について、建築やまちづくりの専門家からアイデアをもらいたい。	勉強会

デザイン会議で検討したいこと	空地（道路用地）や空き家の活用の検討	商店街活性化やグリーンインフラの実践につながる空地（道路用地）や空き家の活用を検討する。事例も参考にして、アイデアの実現に結びつけたい。空地はほっておくと草が生えてきてしまうので、早期に検討して着手する必要があると思う。	空地（道路用地）活用	空地活用ワークショップ（部会）を立ち上げたい。空地はほっておくと草が生えてきてしまうため、まちづくりを考えながら、早めに透水性アスファルト、地面をデッキ状にするなどの取組を住民と区で定期的に考えていきたい。	部会
			空地（道路用地）活用	商店街を活性化させるために、行事使用、雨庭活用、子どもの遊び場としての活用等を検討していく、空地活用部会。	部会
			空地（道路用地）活用	区が取得している道路用地を対象にして、道路用地をグリーンインフラに活用するテーマ部会を設置する。その中で、社会実験として早期に実行してみる。	部会
			事例の調査・学習 空地（道路用地）・空き家活用	地域内の空き地・空き家を有効活用するための事例を学び、実際にどのように活かせるか検討する。	勉強会
			事例の調査・学習 空地（道路用地）・空き家活用	地域内の空き地・空き家を有効活用するために事例を学ぶ。	勉強会
	道路用地や空地を使った社会実験の実施	道路用地や空地、公園を様々なイベントやワークショップの場にしたたり、グリーンインフラの実現やウォークアブルな街並みづくりのために活用できるとよい。ビジョンや計画の策定や次年度以降の本格的な実施に向けた社会実験としたい。	空地（道路用地）活用 イベント・ワークショップ	空地や公園でいろんなワークショップをやりたい。区内にはワークショップができる人、団体がいっぱいある。	その他
			社会実験・プレイスメイキング	ビジョンや計画をつくるための実験を行うために、社会実験・プレイスメイキングを行いたい。検討事案としては空地やグリーンインフラなど。	社会実験
			空地（道路用地）活用	区が補助132号線で取得している用地を使って「社会実験」をしたい。 ①グリーンインフラの実現（透水性舗装、雨庭などいろいろなパターンをやってみる）②	部会
			空地（道路用地）活用	道路用地の活用として、物流車両の停車スペースの設置や雨庭への活用、ベンチの設置などの社会実験を行いたい。	部会
			空地（道路用地）活用	社会実験の実施。道路取得用地や未整備エリアを活用し、イベントスペース、グリーンインフラ、ウォークアブルな街並み、ベンチの設置などの社会実験を早急に実施し、次年度以降の本格的な施策に繋げる。	部会
	歩行者と共存した移動しやすい自転車交通の検討	西荻窪は人より自転車が多い。まちなかの移動のしやすさ、ユニバーサルデザインを考えると、自転車交通に関する検討が必要だと思う。自転車と歩行者が安全安心に通行できる道路や駐輪場のあり方、シェアサイクルなどについて話し合いたい。海外の事情に詳しい人の話を聞いたり、補助132号線以外の道の利用を促す「自転車マップ」を作成することも考えたい。	自転車交通 シェアサイクル	街中の移動のしやすさ、ユニバーサルデザインを考えると、シェアサイクルも有効だと思う。	その他
			自転車交通 歩行者との共存	西荻窪は人より自転車が多い。自転車と歩行者が安全安心に通行できる道路について話し合う。	勉強会
			自転車ネットワーク	自転車はできるだけ並行して通じている、補助132号線ではない道を使うようにデザイン会議で「自転車マップ」を作成し、配ったらどうか。	部会
			自転車交通 駐輪場	街中の移動のしやすさ、ユニバーサルデザインを考える中で、駐輪場のあり方を考えた。通勤者は駅近くに置きたいが、高齢者は歩くのが大変なので自転車を使うため、買い物などをする店の前まで乗っていききたい。駅近くの大規模駐輪場だけではない駐輪場を考える。	勉強会
			専門家・有識者・企業との勉強会 自転車道	自転車道路なるものを検討する勉強会。碁盤の目のように通っている道路をもっと有効に使えないかなど、海外事情に詳しい人から話を（資料）聞きたい。	勉強会

デザイン会議で検討したいこと	バス交通ネットワークの整備やモビリティバスの活用	西荻窪駅へのバス交通ネットワークの整備などモビリティの活用を検討したい。検討にあたっては、地域住民に対して現状の課題を聞くアンケート調査を町会の回覧板などを通して実施できるとよい。	モビリティ交通アンケート	提案を考える手がかりとするために、デザイン会議から各町会に働きかけてモビリティ交通についてアンケート調査をしたい。 1. 各町会でアンケートする内容について討議 2. 西荻窪駅へのアクセスについてアンケート	その他
			交通ニーズ調査の実施	西荻窪駅へのバス交通ネットワークの整備・モビリティバスの活用を検討するにあたり、何に困っているかを地域住民に聞きたい。町会の回覧板を通じた地域へのアンケート調査（特に神明通りについて）をする。	その他
	地域交通の増加の緩和の検討	タワーマンションによる地域交通の増加を緩和するにはどうするかといったことについて話し合いたい。	地域交通の増加の緩和	タワーマンションによる地域交通の増加を緩和するにはどうするかといったことについて話し合いたい。	その他
	まちづくりの方向性や理念の検討	「西荻らしさのイメージ」や「まちの暮らしやすさ」は、人によってそれぞれだと思うので、意見を出し合い、整理して、まちづくりの方向性や理念を考えたい。それを西荻窪地区の魅力づくりにつなげる。	西荻らしさ	「西荻窪らしさ」のイメージを共有するために話し合う。「西荻窪らしさ」と言ってもみんなそれぞれイメージがあると思う。例えば、南口の飲み屋街の雰囲気大好きな人も入れば、防災面が心配という人もいる。デザイン会議で目指す「西荻窪らしさ」の方向性を共有したい。	勉強会
			まちづくりの方向性	街とのつきあい方の整理。居住者・通勤者・通学者など、それぞれの立場から見た「暮らしやすさ」について意見を整理し、まちづくりの方向性を考える。	勉強会
			まちづくりの理念	西荻窪地区の魅力作りの進め方について議論をする。1. 街作りのための理念、2. 地域作りなどについて話し合いたい。	その他
	補助132号線の整備を沿道やまちの質の向上に活かす方策の検討	補助132号線の整備を単なる交通インフラ整備にとどめず、沿道やまちの質の向上にどのように活かせるかを考える。目先の開発だけでなく、長期的な視点でまちのあり方を考えた、持続可能なまちづくりの計画が必要だと思う。	まちづくり方針・計画	未来志向のまちづくり計画策定。目先の開発だけでなく、長期的な視点で都市のあり方を考え、持続可能なまちづくりの計画を策定する。補助132号線の整備を単なる交通インフラ整備にとどめず、沿道の活性化や都市の質の向上にどのように活かせるかを議論する。	部会
	まちの魅力や個人商店がある中低層の街並みを守るまちづくりの方針の検討	西荻窪の魅力を活かし、個人商店がある中低層の街並みを守るために、建物の1階に商店を入れるルールや高層建築物の規制、交通規制などを定めたまちづくりの方針を検討する。	まちづくりのルール	道路拡幅後は高層建築物が建てられるようになってしまうので、道路拡幅と同時のタイミングで高層建築物の規制やまちのルールを設けることができるよう、早めに検討に移りたい。	その他
			まちづくりのルール	地区計画などのルールづくりに向けて、オーナー、所有者の意識や知識の向上、区やまちの担い手のビジョンの検討に早急に着手したい。	その他
			まちづくりのルール	荻窪のまちづくり方針のような、建物の1階に商店をいれるようなルール作りを行いたい。補助132号線沿いの商店街は、魅力ある個人商店がならぶ今では貴重な商店街である。この商店街のある風景を守るため、道路拡幅計画により商店が立ち退きをする際には、希望に見合う移転ができるような、また元の場所に戻りやすくなるようなルール作りができると良い。大手のチェーン店ではなく、住民による商店が有利に出店できるルールとしてほしい。	その他
			建て替え時の対策	補助132号線の整備に伴い建て替えが進んでいる。建て替わると家賃が上がってしまう。ジェントリフィケーション（居住者が富裕層に限られること）を防ぎ、住み続けられる、商売を続けられるまちの実現に向けた方策を検討したい。	勉強会
			まちづくりのルール	西荻窪駅～青梅街道間の商店の減少が課題だと思うので、これからの小売店の有り方や個人商店がある街並みを作るための地区計画、わが町ルールの作成が必要だと思う。そのルールづくりをどのようにしたら良いかを考えたい。チェーン店ばかりの街にならないようにしたい。	その他
			まちづくりのルール	どんなルールが必要か、どんなビジョンに向けたルールなのかを話し合うための、ルールづくりの検討を行う部会。	部会
			まちづくりのルール	道路をつくるだけでなく、それに伴うまちづくりのルールづくりも必要だと思う。まちづくりルールの策定に反映できるように、他のまちの事例を学ぶ。	部会
			まちづくりのルール	まちのルールづくり。市民と行政が協力し、西荻の魅力を活かしたまちにするためのルール（景観・土地利用・交通規制など）を検討する。	部会

デザイン会議で検討したいこと	テーマを限定しないまちに関わる様々な対話・企画を行うプロジェクト型の場の設定	テーマを限定せずに、地域でやりたい、話し合いたいテーマがあれば参加したい人がプロジェクトチームを作って活動するような自由度のある部会を定期的に開催したい。西荻窪のまちに関わる様々な計画に対して、住民と区と都でフラットに顔を合わせて対話できる場になるとよい。	まちに関わる様々なテーマの対話・企画	西荻の「やりたいことリスト」を作り、項目ごとにプロジェクトチームを作って活動し、プロジェクトが達成できたら解散するような仕組み（システム）を作りたい。	その他
			まちに関わる様々なテーマの対話・企画	双方向のコミュニケーションツールを整備し、行政、運営スタッフ、デザイン会議、区民が自由に意見交換ができる環境をつくる。	その他
			まちに関わる様々なテーマの対話・企画	善福寺調節池の計画などの西荻窪のまちに関わる様々な計画に対して、住民と区と都でフラットに顔を合わせて対話できる場がほしい。	その他
			まちに関わる様々なテーマの対話・企画	特定のテーマに限らずに定期的に開催される、地域対話のための部会。「地域の事について話したい、何か行動したい」と思った時に参加し、デザイン会議から生まれた企画を手伝ったり、まちづくりに参加したい人が集まる居場所になると良い。	部会
	みどりを守り育てる方針の明文化に向けた検討	今ある豊かなみどりを守り育てるための「まちづくり条例」やみどりを増やすために植樹を奨励する区の方針を、より普遍的なものにするために明文化してほしい。具体化するための勉強会も開催し、部会をつくって検討を進められるとよい。	みどりを守り育てる方針	今ある豊かなみどりを守り育てるための「まちづくり条例」や、みどりを増やすために植樹を奨励する区の方針を、区長が替わっても変わらないものとして作成・明文化して欲しい。具体化するための学習会も開催し、専門部会をつくって検討を進めていきたい。	部会
	身近なことから始めるグリーンインフラの普及と実践	杉並区が掲げる「みどり豊かな住まいのみやこ」に基づき、グリーンインフラの普及と実践を考えたい。各家庭で実践することで効果が出るので、社会実験なども行いながら身近ですぐ行動できることから取り組みたい。緑のボランティアと連携できないか。	グリーンインフラの普及と実践	杉並区は「みどり豊かな住まいのみやこ」とまちづくりの方針を示しながらも、実際にはみどりは伐採され、住まいの権利が侵害されている。グリーンインフラは行政だけの取り組みではなく、ひとりひとりの取り組みが重要。長期的な視点で進めなければ実現しない。グリーンインフラ杉並区民会議に参加した。今年度、区はグリーンインフラの周知に留まっていたが、次年度はデザイン会議で学びと実践に移行したい。	発言なし
			グリーンインフラの普及と実践	杉並区が掲げる「みどり豊かな住まいのみやこ」に基づきグリーンインフラの実践を部会で行う。補助132号線をモデル地区とした道路版と、住宅地を対象とした住宅版に分けて実験をする。グリーンインフラは各家庭で実践することで効果が出る。	部会
			グリーンインフラの普及と実践	グリーンインフラの普及の方法を検討したい。小学校内の草木の手入れ、個人宅の庭の手入れなど、緑のボランティアと連携してできないか。身近で今すぐできることから検討したい。	勉強会
			グリーンインフラの普及と実践	グリーンインフラ杉並区民会議に参加してとても良かった。熱心な方々が参加されていたので、区民会議とコラボしてグリーンインフラの普及活動を行ってきたい。	勉強会
			社会実験・プレイスメイキング	ビジョンや計画をつくるための実験を行うために、社会実験・プレイスメイキングを行いたい。検討事案としては空地やグリーンインフラなど。	社会実験
	まちの水調整機能アップのための道路用地などのグリーンインフラ活用	まちにおける水調整機能アップのために、道路用地などをグリーンインフラとして活用したい。現状は舗装しているだけのようなので、どんどん用地の舗装が進むのではと危惧している。浸透性舗装や樹木を植えた時の浸透量について学んだり、事例見学会や雨庭に活用できる場所探しなどを行って検討を進められるとよい。	グリーンインフラの活用	グリーンインフラの勉強会を行い、浸透性舗装や樹木を植えたときの浸透量や、それぞれの機能について学び、道路用地のグリーンインフラ活用を検討したい。現状はただ舗装しているだけのように見え、早く用地活用の検討を始めないとどんどん用地の舗装が進んでしまうと思っている。	勉強会
			グリーンインフラ情報の共有	会議の参加者の中に建築などに詳しい人があるので、博覧会を開催してグリーンインフラについて情報提供してもらいたい。浸透性舗装や樹木を植えたときの浸透量や、それぞれの機能について学び、道路用地のグリーンインフラ活用を検討したい。	その他
			水調整機能の向上	まちにおける水調整機能アップのために、区内外の事例見学会を行ったり、雨庭等を設けられる場所を探したりする、汗をかく作業チームを部会としてつくりたい。	部会

デザイン会議で検討したいこと	関根橋周辺のデザイン検討や社会実験による緑の啓発	「関根橋デザイン部会」を作り、関根橋とその周辺の植栽、雨庭、ベンチ、ストリートファニチャーなどを検討したい。関根橋の架け換えを利用した自然、環境を学ぶ社会実験を通して緑の啓発ができるとよい。	関根橋周辺のデザイン・社会実験	植栽、ベンチ、雨庭などの管理をデザイン会議のベース活動にする。関根橋の架け換えを利用した自然・環境を学ぶ社会実験をする。落葉ステーションのような自然循環拠点の設置による緑の啓発ができると良い。	社会実験
	商店街の維持・発展に向けた検討やマップづくり	西荻の魅力は個人商店だと思うが、魅力を継続するためには小規模店主に西荻窪で商売をし続けたいと思ってもらう必要がある。西荻窪が選ばれるための選択の視点について考えたい。更なる発展の可能性を考えるために、店舗の現状を把握して、商店街マップを作れると良いと思う。	関根橋周辺のデザイン・社会実験	関根橋とその周辺を具体的にイメージしながら、雨庭、ベンチ、街路樹、ストリートファニチャー等、デザインを検討をする部会「関根橋デザイン部会」をつくる。	部会
			商店街・個人商店の維持・発展	西荻の魅力は個人商店だが、小規模店主に選ばれないとまちの魅力は継続できない。住民はそこに住んでいるので、出て行く可能性があるのは小規模店主だろう。「西荻でお店をやりたい、やり続けたい」と選ぶ視点は何かを考えたい。	その他
	街の空間や店舗を生かした特徴あるイベントの開催	個人商店がコラボした街めぐりイベント、色がテーマの企画展、街をステージにした演劇祭など、街の空間や店舗を生かし、交流を促すイベントができるとよい。	商店街・個人商店の維持・発展	商店街が現状どのようになっているのか把握し、発展の可能性を考えるために商店街マップを作成したい。	その他
			イベント・ワークショップ	個人商店×個人商店の異業種コラボでの街めぐりイベントを考えたい。例えばギャラリーを見てレストランに行く、古本屋で本を買ってカフェに行く。	勉強会
			イベント・ワークショップ	色がテーマの企画展・イベントがあるが、杉並区でも開催できると良い。毎回テーマカラーを決め、食べ物もその色で提供して楽しむというもの。	その他
	区と住民による検討に役立つ情報提供イベントの開催	区からだけでなく会議の参加者からも、デザイン会議の検討事項に関連する情報提供を行う「情報博覧会」の様なイベントができるとよい。デザイン会議の前後に時間を設けて、オープンハウス形式で実施することも考えられる。	イベント・ワークショップ	区民同士の交流を促す、まち全体をステージとしたような国際的な市街演劇祭が実現できると良い。文化とは美術・音楽・演劇・文学など固定したカテゴリーの中にあるものではないでしょう。政治・経済・教育という制度を支えているスキルは全て文化的だと思う。生活空間そのものがマンネリ化したことを脱するため、気づきが必要なため。	その他
			イベント	前回の運営会議で情報を一堂に会したイベントをしようという意見があったが、場所を確保すれば即実現できると思う。	その他
	広場や公園のあり方や整備計画の検討	西荻窪の広場や公園のあり方について、住民の意見を取り入れながら整備計画を考える。	区や住民による幅広い情報提供イベント	毎回のデザイン会議の前後に時間を設け、区や参加者同士で情報の博覧会やオープンハウスを行う。	その他
			広場や公園のあり方	西荻の広場や公園のあり方について、住民の意見を取り入れながら整備計画を考える。	部会
	子どもや高齢者、障がい者などの居場所や遊び場を確保する方策の検討	子どもや高齢者、障がい者、不登校の児童生徒などの居場所や遊び場を確保する方策を考えたい。近隣の学校や学童、児童館等が公園を利活用できないか。渋谷区笹塚にある「十号のいえ」の様な施設は新しい居場所の参考になると思うので話を聞きたい。	子どもの居場所や遊び場の確保	子どもの居場所や遊び場を確保するために、近隣の学校や学童、児童館等が公園を利活用できないか検討したい。杉並区には「知る区ロード」のような魅力的な公園施設があるが、運営方法に問題があり施設を活かせていないと感じる。	その他
			事例の調査・学習 居場所づくり	渋谷区笹塚にある「十号のいえ」を招いた勉強会を行う。高齢者、障害者、不登校の子どもなどの民間による新しい居場所の参考になると思う。	事例調査 見学会
	善福寺川調節池計画の内容や地域への影響の把握	西荻窪のまちに影響がある善福寺川上流調節池計画が事業認可されたが、工事が実施されたら様々な問題が出てくると思う。公園の遊び場がなくなるなど、子どもの環境への影響も気になる。詳しい事業内容やどのような影響が起こるのかなどを勉強会やヒアリングを通して学び、共有したい。	善福寺川調節池計画	善福寺川上流調節池計画が事業認可され、工事による影響など様々な問題が今後1、2年で出てくると思う。どのような影響が起こるのか、情報共有が必要。	その他
			善福寺川調節池計画	トンネルの工事や公園面積の減少、立ち退きをしなければならない住民がいることなど、西荻窪のまちに関わる人が多い善福寺川上流調節池工事に関して詳しい情報を知りたいため、勉強会をしたい。	勉強会
			善福寺川調節池計画	善福寺川の治水問題は西荻窪だけではなく杉並区全体に関わる問題なので、しっかりと勉強したい。	勉強会
			善福寺川調節池計画	善福寺川上流調整池が住民の暮らし、子どもの環境にどのくらい、どんな影響があるかを徹底調査・ヒアリングする。	勉強会
			善福寺川調節池計画	都の善福寺川上流調整池の事業で、公園の遊び場の一部が一時的になくなると聞いた。都と区とで協力して代替地等を考えるべきではないか。子どもの遊び場をどう確保するかを考えたい。	その他

得たい・共有したい情報やデータ	132号線の基本情報・計画の経緯	補助132号線の基本情報（道路幅員、歩道幅、整備スケジュールなど）や計画決定の経緯、費用対効果、計画を中止した場合の損害額などを勉強会で区から説明してほしい。区だけで不十分な場合はデザイン会議参加者からの補足も含めて知りたい。	132号線 基本情報・経緯	補助132号線の基本条件（道路幅員、歩道幅、整備スケジュール（目標））や補助132号線の目的（通過交通だけなのか、地域交通の整備と一体か）を知りたい。	勉強会
			132号線 基本情報・経緯	132号線の計画決定の経緯と、都市計画法が旧法（戦前）から新法（1968年）へ変わり、内容がどのように変更されたのかも併せて説明してほしい。区だけで不十分な場合はデザイン会議参加者からの補足も含めて知りたい。	勉強会
			132号線 基本情報・経緯	補助132号線の整備について、行政がどのような計画を持っているかを把握したい。	その他
			132号線 基本情報・経緯	区と話し合いを持ち、132号線の道路幅をどのようにして決めたのか、などについて説明を聞いてみたい。	勉強会
			132号線	計画を中止した場合の損害額が知りたい。また、優先的に推進しているということだが、区内のその他の課題と比較して優先すべき根拠が知りたい。	勉強会
			132号線	道路建設の費用対効果が知りたい。	勉強会
	132号線の必要性や整備効果	補助132号線拡幅が必要だという理由を、根拠となる交通量のデータや防災面の効果、メリットなどを示して説明してほしい。必要性を考えるためには、世田谷区太子堂などの事例見学や社会実験による交通量の検証も必要だと思う。区が説明するだけでなく、拡幅に対する考えが異なる外部の専門家を招いた勉強会ができると良い。	132号線 拡幅の必要性や効果	補助132号線拡幅の必要性の根拠が知りたい。補助132号線の現在、5年前、10年前の「交通量」はどうなっているのか。平日、夜、休日の「交通量」が減っていると実感している。	勉強会
			132号線 交通量の検証	駅から青梅街道までの132号線を、車の侵入を停止する社会実験を行い、周辺道路の交通量の増加などの検証をしたい。その際には、バス等の公共交通機関や一部の車両は通行可とする等の条件は必要だと思う。	社会実験
			132号線 拡幅の必要性や効果	道路の拡幅が必要であるという理由を説明してほしい。	勉強会
			132号線 拡幅の必要性や効果	補助132号線を拡幅する理由について、杉並区から話を聞きたい。このまま拡幅しなくても良いではないか、という声もあるなかで拡幅する理由を聞かないと前に進めない。	勉強会
			132号線 拡幅の必要性や効果	補助132号線を拡幅する理由について、杉並区から話を聞きたい。防災面での道路の必要性について正面から議論し、道路整備の必要性や道路の形状を考えたい。	勉強会
			事例の調査・学習		
			132号線 拡幅の必要性や効果	道路拡幅が必要なのかを考えるために、太子堂など各地の事例を見学したい。	事例調査 見学会
			132号線 基本情報・経緯 拡幅の必要性や効果	補助132号線に関する行政の方針や、その良さ・特色についての説明を受け、住民の理解を深める。特に道路拡幅の必要性を考えた方から意見を聞きたい。	勉強会
			専門家・有識者・企業との勉強会		
			132号線 拡幅の必要性や効果	延焼防止は不燃化率70％で実現する（建物の不燃化や緑地・個人敷地の緑化推進などで実現）。道路の拡幅よりも確実とする埼玉大学名誉教授の岩見良太郎さんの勉強会をやりたい。	勉強会
			専門家・有識者・企業との勉強会		
			132号線 拡幅の必要性や効果	補助132号線の拡幅計画について、道路を必要とする立場、不要とする立場それぞれの専門家から話を聞き意見交換をしたい。	勉強会

得たい・共有したい情報やデータ	132号線沿道の歩行者・自転車の安全性を確保する対策	補助132号線沿道の歩行者や自転車の安全性を確保するために、どのような対策ができるのかを知りたい。先進事例を調べたり、見学会を行い、歩車分離や交通制限などの対策の可能性やユニバーサルデザインのあり方などを考えたい。	132号線 歩行者・自転車の安全性	自転車の交通への配慮として、歩道と分離できるのか、自動車交通の制限はどのようにしたら可能かを知りたい。	勉強会
			132号線 歩行者・自転車の安全性	補助132号線の計画幅の利用について（歩道、自転車、自動車）制限時間を設けられるかを知りたい。	勉強会
			歩行者・自転車の安全	歩行者や自転車の安全について、うまくいっている方法や事例を調べる。	事例調査 見学会
			事例の調査・学習 歩きやすさ・ユニバーサルデザイン	132号線ができると道路幅員が広くなり横断が難しくなると思う。石神井公園付近の132号線整備済区間を見学し、歩きやすさやユニバーサルデザインについて話し合う。	事例調査 見学会
	道路拡幅による商店街分断を避けるための対策	補助132号線拡幅後に商店街がどうなるかのシミュレーションをしたり、各店舗が個性を持ちながらもまとまりがある商店街になっている要因の調査と意識共有を行うことで、道路拡幅の必要性や効果、商店街の分断を回避する策を考えたい。	132号線 拡幅の必要性や効果	補助132号線拡幅後、商店街がどうなるのかのシミュレーションを行い、拡幅の必要性や効果について考える勉強会をしたい。	勉強会
			132号線 拡幅後の商店街への対策	西荻窪の商店街が個性的なのにまとまりがある一因の調査と意識共有をしたい。道路が広がったときに商店街同士のコミュニティが分断されるのを防ぐため。	その他
	先進的な市民参加型まちづくりの事例	ポートランドや世田谷区のような先進的な市民参加型まちづくりの事例を学び、西荻窪での応用の可能性を探りたい。北沢デザイン会議の経緯や現状を知りたい。杉並のデザイン会議の今後の参考になると思う。	事例の調査・学習 市民参加型まちづくり	地域の方の持っている知恵や知識をまちづくりに活用できるよう、他地域における市民参加型まちづくりに関する勉強会を行う。	事例調査 見学会
			事例の調査・学習 先進的なまちづくり	ポートランドや世田谷区のようなまちづくりが進んでいる地域の見学会や、勉強会をしたい。	事例調査 見学会
			事例の調査・学習 まちづくり団体	他地域のまちづくり団体の活動事例を学び、西荻での応用の可能性を探る。	事例調査 見学会
			事例の調査・学習 デザイン会議の今後	世田谷区のシモキタ園藝部のように、北沢デザイン会議から始まった組織が現在どのような活動をしているか等を学ぶため、世田谷区の見学会や勉強会を行いたい。	事例調査 見学会
			まちづくり方針・計画	西荻窪地域のまちづくり方針をつくる。他地域のまちづくり団体の活動事例を学び、西荻での応用の可能性を探れると良い。	その他
	まちづくり方針やまちづくりのルール策定の先進事例	まちづくり方針やまちづくりのルール、活動や商売などを知りたい。専門家とも連携して実効性を確保できるとよい。	まちづくりのルール 地域活動の活性化	西荻窪でまちに関わる活動、商売や仕事など、「何かしたい」と思っている人が「何かをしやすくなる」ルールづくりを行う。やりたい人がやりやすい仕組みがあると街の活性化につながると思う。地域活動力が活発な地域の事例を調べ、それを参考にできると良い。	勉強会
			事例の調査・学習 まちづくりのルール	まちづくりルールの策定に反映できるように他のまちの事例を学び、専門家とも連携して実効性を確保したい。	事例調査 見学会
			事例の調査・学習 まちづくりのルール	まちづくり方針のような、まちのルールの作り方について、手続き方法や流れ等、どう進めるのかを参考事例とともに知りたい。荻窪のまちづくり方針のような、建物の1階に商店をいれるようなルール作りができると良いと考えるため。	勉強会
	交通や建物に関する規制の内容や導入に向けた検討事項	交通規制、建築物規制、出店規制、高架下利用などの法制化や法律について専門家から話を聞いたり、事例を勉強したい。西荻窪で導入したいものを考え、導入するための方法なども検討できるとよい。	事例の調査・学習 法制化・法律	交通規制、出店規制、高架下活性化・活性化事例等の法制化・法律の勉強をしたい。他国や他行政の良い事例を勉強し、西荻窪に取り入れた方がよいもの、できそうなものを検討する。併せて、他の事例では導入できているものができない理由（法的な事情等）も検証したい。	勉強会
			専門家・有識者・企業との勉強会 建築物規制	建築物規制に関して、まちづくりのプロの方の意見を聞く場がほしい。	勉強会

得たい・共有したい情報やデータ	地域課題のメリット・デメリット	地域課題のメリット、デメリット、解決策の代案の可能性などについて、専門家を交えて話し合いたい。	専門家・有識者・企業との勉強会 地域課題	地域課題のメリット・デメリット、代案や工夫など、専門家を交えて話し合うことができる学習会を開きたい。	勉強会
	西荻の課題や魅力が整理された学習プログラム	西荻の課題や魅力を整理するために、基礎学習的な学習プログラムが作れるとよい。	西荻の基礎（課題・魅力・防災）	西荻の課題や魅力を整理するために、基礎学習的な学習プログラムをつくる。防災の意義についても学ぶ。	勉強会
	区の自然環境調査報告書の共有	生態系を活かしたまちづくりを進めていくために、杉並区環境部環境課が担当となって既にまとめられている「杉並区自然環境調査報告書」をまず共有したい。	生態系を活かしたまちづくり	生態系を活かしたまちづくりを進めていくために、既にまとめられている杉並区自然環境調査報告書（杉並区環境部環境課）をちゃんと共有するところから始めたい。	勉強会
	避難所の整備などの防災対策を考えるための事例	避難所等の整備や防災対策を考える一環として、備蓄倉庫等の防災関連施設の見学会をしてはどうか。	防災関連施設の見学会	防災テーマにおいて、避難所等の整備や防災対策を考える一環として備蓄倉庫等の防災関連施設の見学会をしてはどうか。	事例調査 見学会
	西荻窪のまちづくりに関係する事業者や住民の意見	西荻窪のまちづくりに関係する企業や団体、個人の意見を広く聞き、情報交換できるとよい。西荻窪駅前の今後についての考えをＪＲや関東バスからヒアリングしたり、補助132号線拡幅によって影響を受ける関係者の思いや考えを聞きたい。	関係者ヒアリングや情報・意見交換	西荻まちづくりに関係する各者・各社へのヒアリングや意見交換、情報交換を行う。	その他
			専門家・有識者・企業との勉強会 西荻窪駅前のあり方	西荻窪駅前の今後についての考えを、ＪＲや関東バスから聞き、意見交換する勉強会をしたい。現状ではバスが道路上に停車し乗り降りしていることや、高架下施設の今後の方向性等について住民は関心があるので、ＪＲや関東バスの考えを聞きたい。	勉強会
			132号線 関係住民の意見	補助132号線によって生活が変わってしまう方々から思いを聞きたい。（この意見については、単に聞くだけでは失礼ではないかという意見があった）	勉強会
	まちの状況把握のための調査手法	まちの状況を把握する手法には、アンケート、インタビュー、現地観察などいろいろな手法があると思うので、調査手法の勉強会があるとよい。	調査手法	街の状況を知るため、調査手法の勉強会を行う。アンケートだけでなくインタビューとか、人の滞留場所の観察とか色々な手法があると思う。	勉強会
まちづくりに活用できる情報	まちづくりに関する活動をする際に拠点として使われている施設や「トロールの森」、「西荻茶散歩」などのイベントを通して、助成金や拠点のマップなどのまちづくりに活用できる情報を収集し、地域に提供できると良い。	まちづくりに活用できる情報	西荻窪では、何か活動をする際には井荻会館などの拠点を利用したり、「トロールの森」、「西荻茶散歩」などのイベントに参画している印象があるので、そういった施設やイベントから助成金や拠点のマップなどのまちづくりに活用できる情報を収集して、地域に提供できると良い。	その他	
西荻窪の店舗情報	商店街の店というが、どんな店があるか分からないので教えてほしい。参加者同士が情報を出し合えると良い。	店舗情報	商店街の店というが、どんな店があるか分からないので教えてほしい。参加者同士が情報を出しあえると良い。	その他	
その他	デザイン会議の進め方・部会の構成	デザイン会議の進め方・部会の構成	テーマ（分野）別にするのもいいが、結局テーマが横断するのでエリア毎に部会を立ち上げ、その中でテーマごとに話す方がよいのではないかな。		
		デザイン会議の進め方・部会の構成	部会に分けるのはもう少し待ってほしい。ひとつのテーマで収まらないものが多く、部会に分かれると共通認識を持って進めていくことが難しくなる。出ている意見に対して、みんなで優先順位をつける、精査していく作業を踏まえて部会に分かれたい。		
		デザイン会議の進め方・部会の構成	勉強会は部会の一環で行うこともある。また、勉強会から部会に発展することも考えられる。		

その他	デザイン会議の進め方・部会の構成	デザイン会議での区と参加者のコミュニケーションは、これまで遅々として進まなかった感がある。これまで出された数々の意見やアイデアを区で集約して区からの提案を示したり、議論の結果や決定したことを明示しながら、ステップを積み重ねて議論を進めてほしい。	デザイン会議の進め方・部会の構成	これまでの会議では曖昧な点が多かったため、決定したことを明示しながら議論を進めることで、もやもや感を解消してほしい。	
			デザイン会議の進め方・部会の構成	デザイン会議での区と参加者のコミュニケーションは、これまで遅々として進まなかった感がある。参加者の知識、行動がステップアップできる方法を望む。生産的に議論できるような進め方をしてほしい。	
			デザイン会議の進め方・部会の構成	さとことプレストから既に多くの意見が出たと思うので、これまでの意見やアイデアを区で集約し、いくつかの提案や事例を提出する。その中から区民がデザイン会議でやりたいことを決定するやり方がいいと思う。	
	デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	西荻に関わる大きな問題について多くの住民が正確な情報を知るべきだと思う。デザイン会議の参加者以外にも情報を共有するための展示や勉強会、子育て世代、高齢者、障がい者など多様な人を対象にしたワークショップ、ヒアリング調査などを実施したい。NPOなどの既存の拠点を気楽に立ち寄れる場にして、新しい人も関われるようにするのも良いと思う。	デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	西荻に関わる大きな問題は、ひとりでも多くの住民が正確な情報を知るべき。デザイン会議参加者以外にも情報を共有するための展示や勉強会は必須である。	
			デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	デザイン会議に来れない人もいる。子育て中の方、高齢者、障がい者、まちで働く人などあらゆる人を対象にワークショップ、インタビュー・ヒアリング調査、実験をしていきたい。	
			デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	今あるNPOなどの拠点を気楽に立ち寄れる場にしていく。西荻南などに今あるコミュニティを生かしながら、新しい人も関われるようにすると良いと思う。	
	デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	若者をデザイン会議にどう取り込むかを考える必要がある。興味を持ってもらうきっかけとして、銭湯や居酒屋を巡るなど参加しやすいテーマのまち歩きを企画して周辺大学などに呼びかけたり、学生（小・中・高・大学生）や留学生の意見を聞く懇談会を開催できると良い。	デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	若者をデザイン会議にどう取り込むかを考える必要がある。銭湯巡りや居酒屋巡りなどの別テーマを入り口にして、まち歩きの企画をし、周辺大学生などに声掛けをするのはどうか。個人的に132号線を通るようなルートで、周辺大学の仲間に声をかけ、銭湯巡りや居酒屋めぐりを行い、132号線の話提供を行っている。	まちあるき
			デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	留学生、学生の意見も聞きたい。（小・中・高・大学生）地域の中・高・大学生の意見を聞く懇談会を開催できると良い。	
			デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	東京女子大学にまちとの連携強化の検討を呼び掛けたい。	
	デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	デザイン会議の参加者の多くは地域住民だが、バス会社などの132号線を利用する事業者や沿道の商店、商店街関係者、JRなども巻き込んだ議論が必要ではないか。そういう関係者にヒアリングすると新たな視点が出てくると思う。	デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	デザイン会議の参加者の多くは地域住民であるため、仕事で132号線を利用する事業者や沿道の商店の方にも意見のヒアリングを行うことが必要ではないか。例えば、バスの運転手目線で考えると132号線は狭く、拡幅を望むと思う。	
			デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	補助132号線の整備に関しては、JRや商店街など地域の関係者を巻き込んだ議論を行うべきではないか。	
	デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	デザイン会議には沿道のまちデザイン係だけでなく、会議で取り上げる様々なテーマを担当する部署の職員にも関わってほしい。区役所内で横断的に問題に取り組める様に、各部署に意見を聞き、情報共有してほしい。	デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	区役所内で横断的にやっていくために、沿道のまちデザイン担当から、様々なテーマに即した都市整備部以外の部の方に意見を聞き、情報共有してほしい。	その他
	デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	まちづくり団体、協議会同士の連携ができると良いので、現状では公表されていない登録団体の情報を公表してほしい。	デザイン会議の体制連携したい／関わってほしい人	まちづくり団体・協議会同士が連携できると良いと思うが、登録団体が公表されておらず連携が困難となっているため、登録団体を公表してほしい。	

その他	デザイン会議の位置づけ	デザイン会議が今後も継続できる様にするために、この会議のポジションを明確にしたい。	デザイン会議の位置づけ	デザイン会議が今後なくなってしまうように、今後も続くように、この会議のポジションを明確にしたい。	
	デザイン会議の名称	対外的に事例調査や見学会を行う時のことを考えると、そろそろ会議名称から（仮称）を取った方が良いのではないかと。運営会議で決めて良いと思う。	デザイン会議の名称	会議名称を運営会議で決めて良いと思う。（仮称）をそろそろとってもいいのでは。世田谷区など他の団体などに見学会に行く際に、（仮称）が残っているのもどうかと思う。	
	情報周知・リテラシー	広報紙を見る人は少ないと思うのでSNS、ネットを効果的に利用して、デザイン会議を含めたまちづくりに関する情報の更なる周知を行ってほしい。正確な区政情報を得るために、SNSリテラシーを向上させる勉強会をしてはどうか。	情報周知・リテラシー	デザイン会議を含めたまちづくりに関する情報の更なる周知を行う。広報紙を見る人は少ないと思うので、SNS、ネットを効果的に利用してほしい（区主体）。	
			情報周知・リテラシー	2026年には区長選が行われる。その時に適切な投票ができるように、区政への理解を深める必要がある。正確な区政情報を得るために、まずSNSリテラシーアップの勉強会をしてはどうか。	勉強会